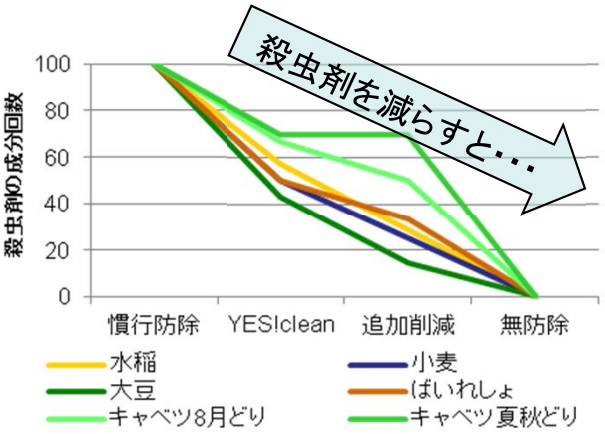
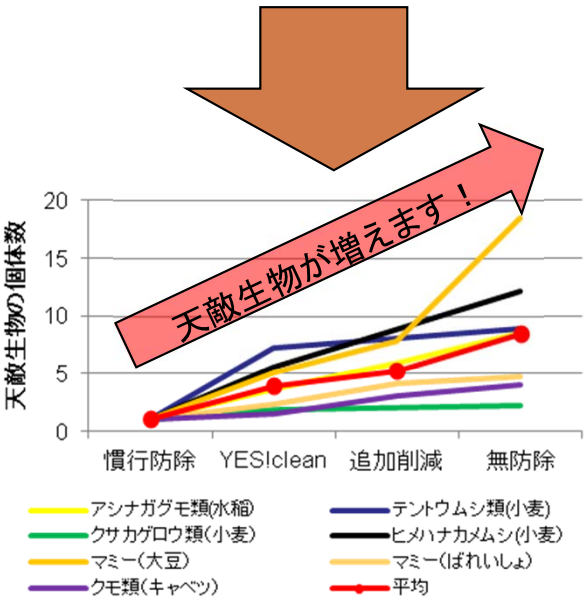
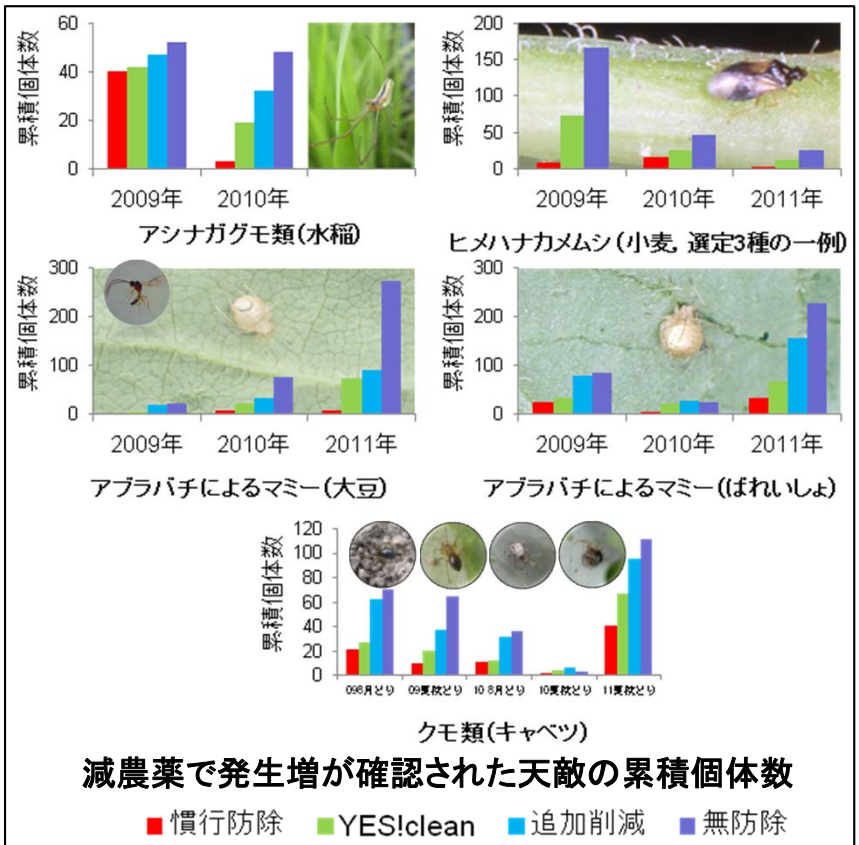
天敵生物の発生量増加による クリーン農業の環境保全効果の確認

○クリーン農産物を生産している農地では、生物多様性等の環境保全の観点でどのような改善がなされているのでしょうか？
この疑問に答えるため、水稲、大豆、ばれいしょ、小麦、キャベツ の5作物を対象に、減農薬栽培を実施して天敵生物の発生量を調査しました。



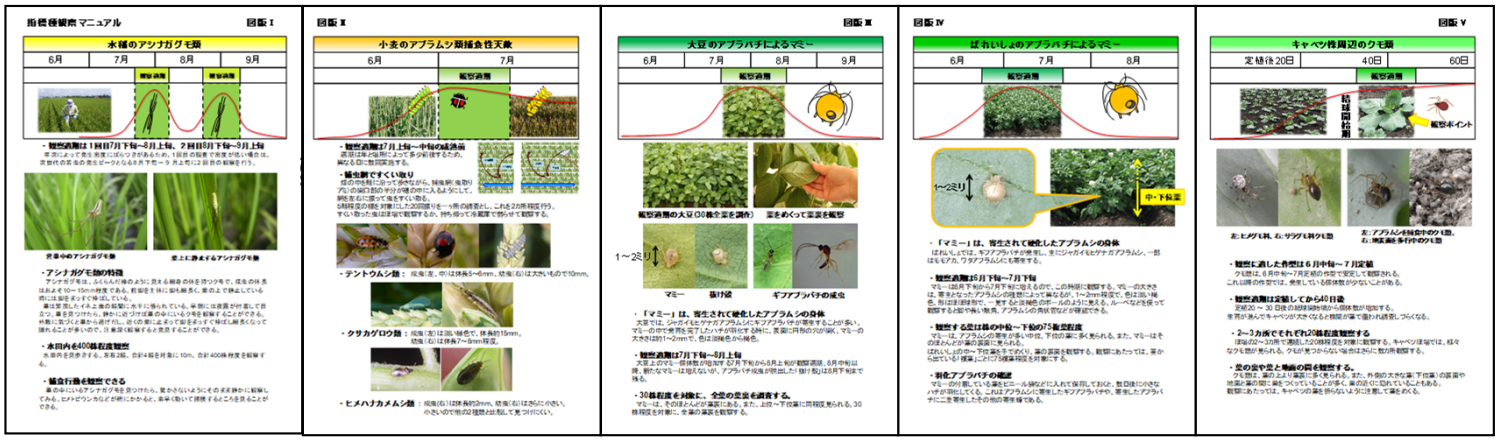




減農薬で発生増が確認された天敵の累積個体数

上図に示すような天敵類は、減農薬レベルに応じた発生量の増加が観察されました。

このように、殺虫剤使用量を減らしたほ場で、天敵生物の増加が確認されました。
減農薬栽培には、このような環境保全上の効果があることがわかりました。



これら発生増の確認される「指標天敵」を観察するためのマニュアル（入手方法は下へ連絡）を作成しました。

お問合せは　道総研十勝農業試験場　〒082-0081 北海道河西郡芽室町新生南9線2番地
研究部生産環境グループ　Tel 0155-62-9812 tokachi-agri@hro.or.jp